

# 組合そくほう

信 州 大 学 教 職 員 組 合

<http://www7a.biglobe.ne.jp/~akarenga/>

全大教ホームページ <http://www.zendaikyo.or.jp/>

信州大学教職員組合事務局

直通電話：0263-33-0933 (FAX 兼用)

内 線：811-2341

メー ル：akarenga@kbf.biglobe.ne.jp

通算 931 号 2025 年 6 月 4 日発行

## 第 65 期中央代議員会を開催しました

5 月 31 日（土）に第 64 期中央代議員会をウェブ会議で開催しました。

第 64 期の活動報告の主なものは次の通りです。

### A) 外国語・外国語事情担当教員雇止め問題への支援

2023 年 3 月に雇止めにあった英語担当教員の職場復帰のための支援をおこなった。当該教員が起こした裁判を積極的に支援した。法人が、今年度の職場復帰を受け入れたので、2024 年 12 月 18 日、裁判所で和解が成立した。

### B) ある学部でのハラスメントへの対応

教授会での発言を問題にされ、学部で「調査委員会」を立ち上げられた教員の支援をおこなった。教授会での発言を問題にすることは、大学の自治の根幹に関わると主張し、法人と交渉をおこなった。

### C) 法職連絡会への参加

2024 年 8 月 26 日（月）に第 32 回、2025 年 1 月 27 日（月）に第 33 回の法職連絡会に参加した。

### D) 駐車場問題

松本キャンパス交通部に、子育て・介護のために駐車場を使用しなければならない 2 km 未満に居住している職員に対して、1000 円引き下げを要求した。

### E) 無期転換非常勤職員の定年にとまなう契約条件の変更に対する対応

### F) 合同職懇の開催

これを受けて、65 期では次のことに対応していきます。

### A) 教職員の賃上げおよび特別手当の要求

物価高にみあった給与の引き上げがおこなわれていないので、賃上げおよび特別手当を要求する。

### B) 無期雇用非常勤職員の定年引上げ

信大では、ほとんどの職において 65 歳が定年であるが、無期雇用非常勤職員の定年は 60 歳にとどめられている。平等の観点から、無期雇用非常勤職員の定年の 65 歳までの引き上げを要求していく。

### C) 70 歳定年

改正高年齢者雇用安定法の趣旨に従い、定年の 70 歳までの延長を求めていく。

### D) 期限の定めのある契約をしている教職員の雇用継続の基準の明確化

期限の定めのある契約をしている教職員について、契約更新の判断の是非が恣意的におこなわれないよう、基準を明確化するよう法人に要求していく。

### E) 人権が保障される職場の実現

理事の構成などで、女性の割合を増やしていくことを要望していく。また、組合員に対するハラスメントの事例を解決するよう努力する。駐車場問題を解決するべく、担当理事と交渉する。

### F) 大学自治

TP(ティーチング・プロフェッサー)助教の制度が研究重点教員と教育重点教員への分断への契機にならないよう注意する。

昇進人事における全国公募化には反対をしていく。

### G) 労働協約のリニューアル

### H) 事務局体制の強化



# 中央執行委員長 就任挨拶

第 65 期信州大学教職員組合 中央執行委員長

学術研究院（工学系） 榊 和彦

第 65 期の信州大学教職員組合の執行委員長を務めさせていただくことになりました。今期、工学部に中央執行委員長が回ってくるとのことで、第 61 期に経験のある小職に声がかかって、力不足ながら引き受けることになり、若里支部の執行委員長（職場代表兼務）も担当いたします。

昨年度の第 64 期の活動報告を拝見して、前回中央執行委員を行った第 59～61 期に比べ、組合活動が活発になった印象を受けました。特に、第 61 期はコロナ禍と重なって、オンラインでの活動が主になってしまいましたが、今期はオンラインのメリットを活かしながらも、対面での交流・意見交換も積極的に行ってきたいと思います。

米価の高騰に代表される賃上げを上回る物価上昇、少子高齢化と雇用不足、地球環境問題、トランプ関税、地政学的な問題など国内外での課題が山積みで、我々の生活もなかなか明るい兆しがみえません。

本学においては、第 4 期中期目標期間後半(2025-2027)に入り、具体的な施策を整理した「信州大学改革実行プラン in GEAR 2nd STAGE」をもって、新執行部と各部局の教職員との意見交換が今年 2 月から 4 月に行われました。また、中村学長から信州大学教職員組合第 65 期中央代議員会総会の開催にあたりメッセージをいただき、『J-PEAKS 信州大学の使命と役割』を強調されて、加えて、『組合員様との丁寧な対話を重ねながら、信頼と創造の好循環を築いてまいりたい』とのお言葉もいただきました。是非とも、丁寧な対話を通じて、より良い信州大学を築いて行きたいと思います。

日々の仕事のなかで、教育と研究と言いながらも、多様化してする学生への対応や種々の会議等や提出物など目先の対応、さらには研究費の確保など、なかなか落ち着いて自分の研究時間がとれないのが実情で、組合活動や相互の交流も限られているように思います。第 61 期就任時の（組合そくほう 904 号）で紹介した木下武夫著『労働組合とは何か』（岩波新書、2021 年 3 月刊）を再びひも解いてみたいと思います。

最後に、全国大学高専教職員組合 中央執行委員長 笹倉様からの本組合へのメッセージの一部のあった『笑顔の職場づくり』を目指していきたいので、皆さんご協力と組合へのご要望やご意見を願ひして、挨拶とさせていただきます。一年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。



## 第 65 期（2025 年度）信州大学教職員組合 役員

執行委員長：榊和彦（工学） 執行副委員長：田口悟朗（繊維） 事務局長：成澤孝人（経法）

中央執行委員：青木周平（経法）越智康司（教育） 川久保英樹（教育）川阪明彦（繊維）

國頭恭（理学）窪田寛之（病院）酒井悟（工学）中島美帆（理学）三木敦朗（農学）

会計監査委員：清水まさみ 塚田理絵